

11. 健康に関する情報

(1) メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の認知度

問37 メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)とは、「内臓脂肪が蓄積することによって、血圧、血糖が高くなったり、血中の脂質異常を起こしたりして、食事や運動などの生活習慣を改善しなければ、心筋梗塞や脳卒中などが起こりやすくなる状態」のことで、あなたは、この内容を知っていましたか。(○はひとつ)

全体では、「内容を知っていた」が70.9%となっている。「言葉は聞いたことがあるが内容は知らない」は23.0%、「知らない」は4.8%である。(図11-1-1)

性別にみると、「内容を知っていた」は男性(72.7%)が女性(69.3%)より3.4ポイント高くなっている。(図11-1-1)

性・年齢別にみると、「内容を知っていた」は女性50~59歳で81.7%、男性60~69歳で78.9%と高くなっている。「知らない」は女性15~19歳で15.9%、男性15~19歳で11.4%となっている。

(図11-1-2)

図11-1-1 メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の認知度（全体／性別）

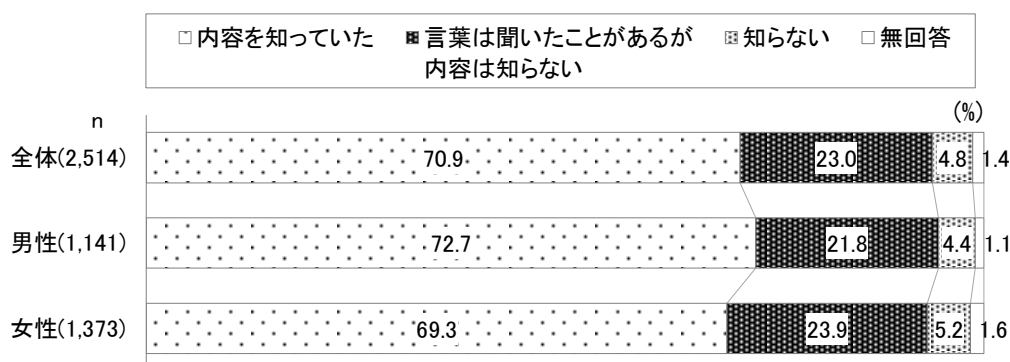
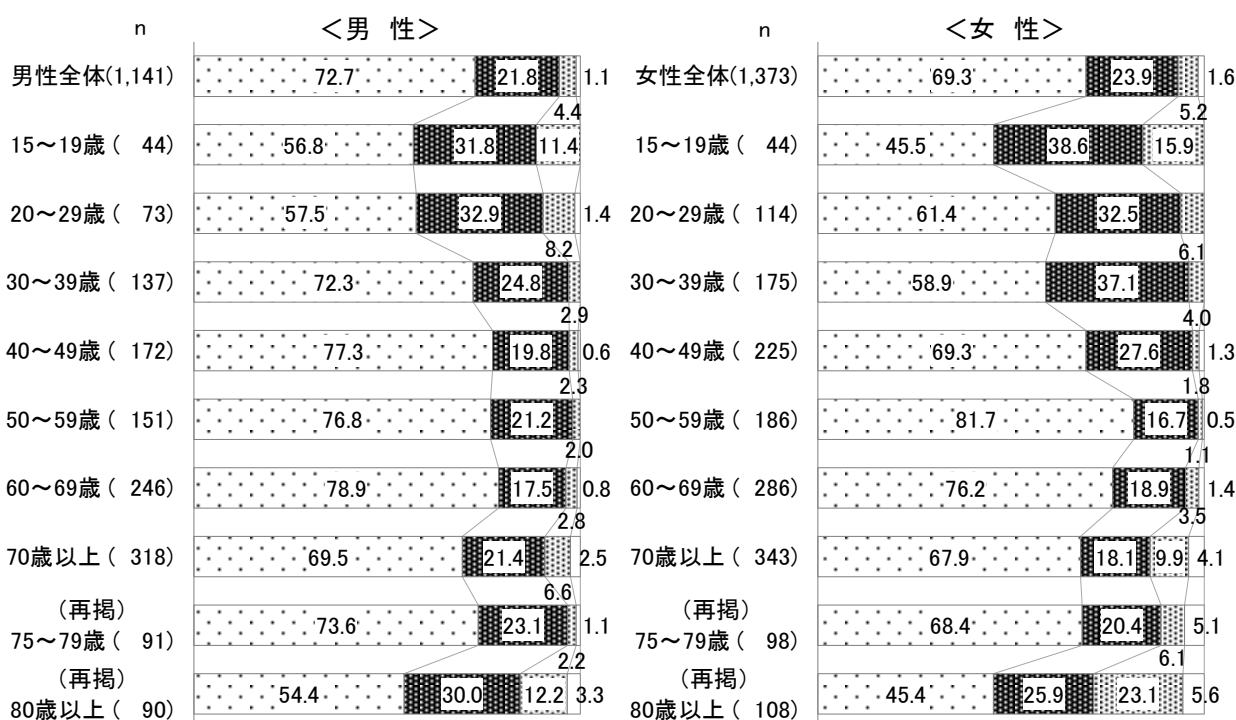


図11-1-2 メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の認知度（性・年齢別）



過去の調査と比較すると、「内容を知っていた」(70.9%)は平成25年度(70.1%)より0.8ポイント増加している。(図11-1-3)

性別で過去の調査と比較すると、「内容を知っていた」は男性(72.7%)が平成25年度(68.8%)より3.9ポイント増加している。(図11-1-4)

図11-1-3 メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の認知度(過去の調査との比較)

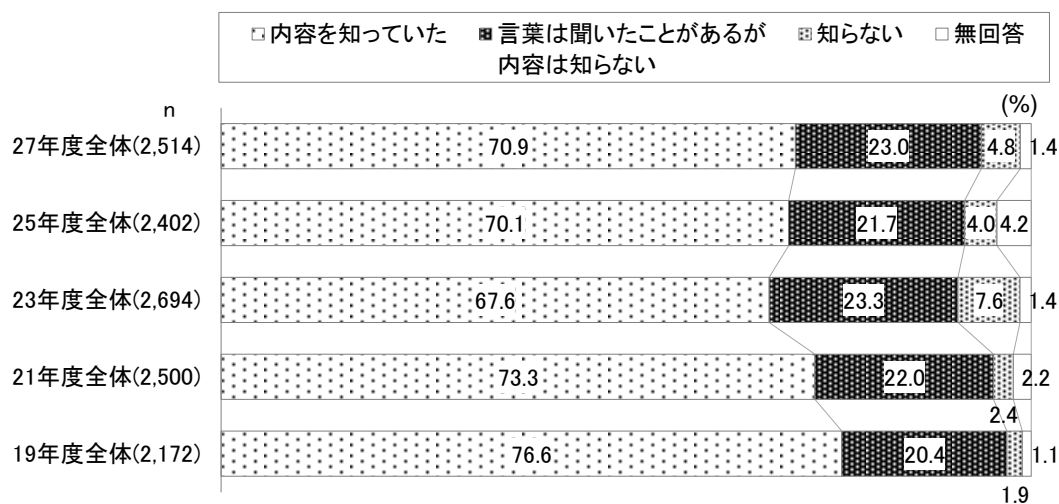
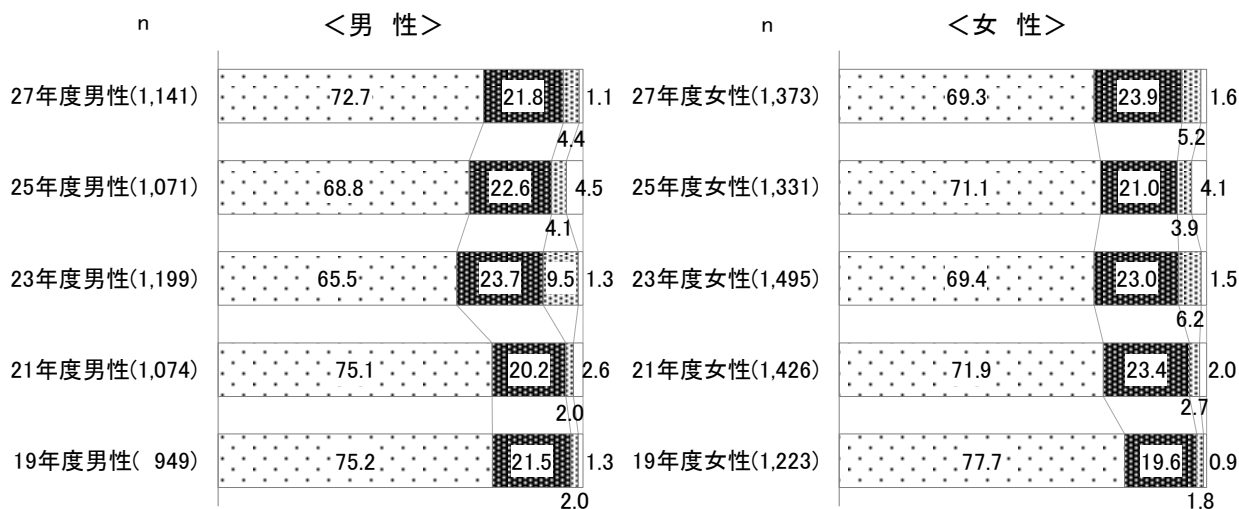


図11-1-4 メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の認知度(過去の調査との比較・性別)



(2) ロコモティブシンドローム（運動器症候群）の認知度

問38 ロコモティブシンドローム（運動器症候群）とは「運動器官（筋肉、関節、骨など、人が移動するために使う器官）の障害によって、日常生活で人や道具の助けが必要な状態やその一歩手前の状態」をいいます。あなたは、この内容を知っていましたか。
 (○はひとつ)

全体では、「内容を知っていた」が19.8%となっている。「言葉は聞いたことがあるが内容は知らない」は21.6%、「知らない」は57.3%である。(図11-2-1)

性別にみると、「内容を知っていた」は女性(22.9%)が男性(16.0%)より6.9ポイント高くなっている。(図11-2-1)

性・年齢別にみると、「内容を知っていた」は女性60～69歳で31.8%、女性50～59歳で25.8%と高くなっている。「知らない」は男性15～19歳で79.5%、女性15～19歳で75.0%となっている。

(図11-2-2)

図11-2-1 ロコモティブシンドローム（運動器症候群）の認知度（全体／性別）

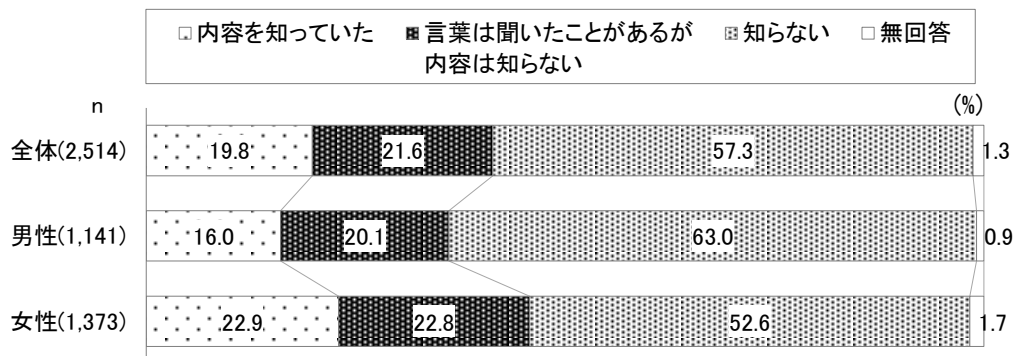
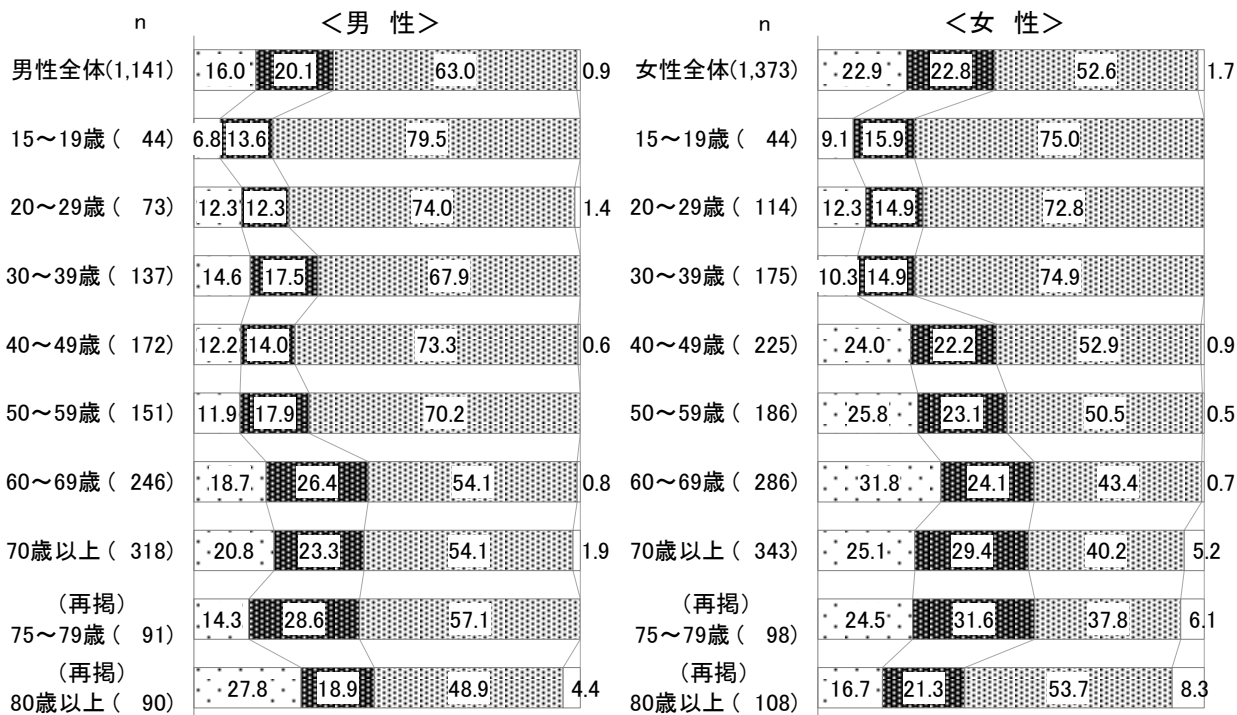


図11-2-2 ロコモティブシンドローム（運動器症候群）の認知度（性・年齢別）



過去の調査と比較すると、「内容を知っていた」(19.8%)は平成25年度(15.4%)より4.4ポイント増加している。(図11-2-3)

性別で過去の調査と比較すると、「内容を知っていた」は女性(22.9%)が平成25年度(17.0%)より5.9ポイント増加している。(図11-2-4)

図11-2-3 ロコモティブシンドローム(運動器症候群)の認知度(過去の調査との比較)

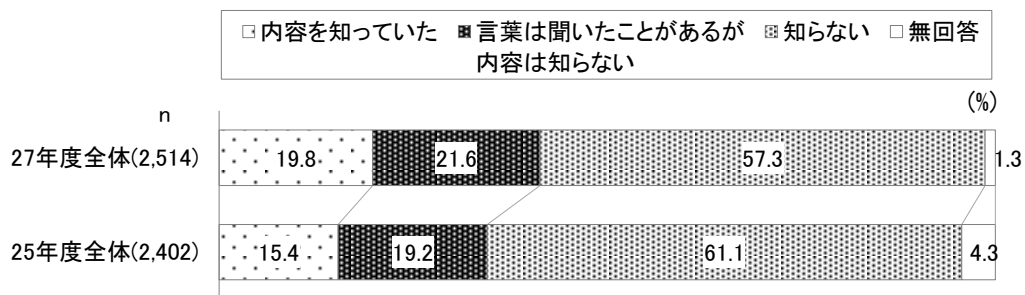
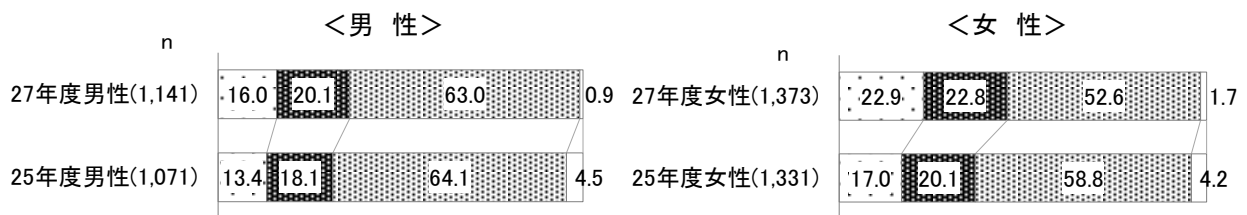


図11-2-4 ロコモティブシンドローム(運動器症候群)の認知度(過去の調査との比較・性別)



※平成19・21・23年度調査では、この質問をしていない。

(3) COPD（慢性閉塞肺疾患）の認知度

問39 COPD（慢性閉塞性肺疾患）とは「たばこの煙を主とする有害物質が長期に気道に触れることによって起きる炎症性の疾患で、主な症状として咳・痰・息切れがあり、徐々に呼吸障害が進行する疾患」で喫煙者の20%がCOPDを発症するといわれています。あなたは、この内容を知っていましたか。（○はひとつ）

全体では、「内容を知っていた」が26.6%となっている。「言葉は聞いたことがあるが内容は知らない」は20.1%、「知らない」は51.9%である。（図11-3-1）

性別にみると、「内容を知っていた」は女性（28.4%）が男性（24.4%）より4.0ポイント高くなっている。（図11-3-1）

性・年齢別にみると、「内容を知っていた」は女性40～49歳で35.1%、女性60～69歳で31.8%と高くなっている。「知らない」は女性15～19歳で77.3%、男性20～29歳で65.8%となっている。

（図11-3-2）

図11-3-1 COPD（慢性閉塞肺疾患）の認知度（全体／性別）

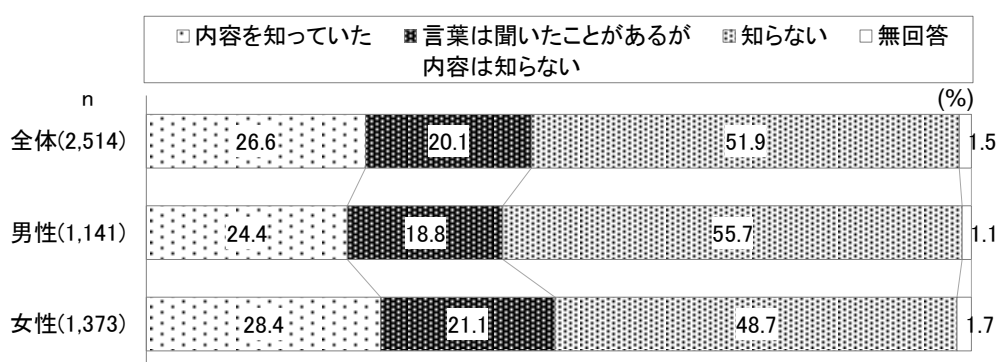
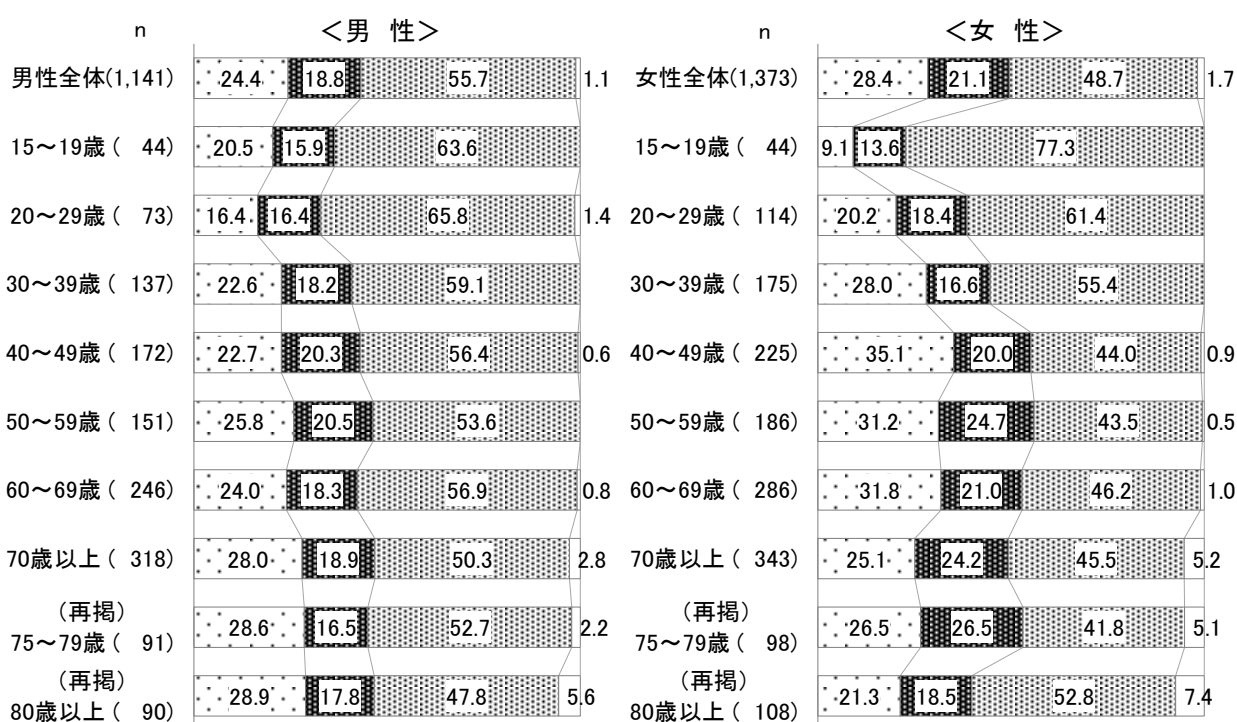


図11-3-2 COPD（慢性閉塞肺疾患）の認知度（性・年齢別）



過去の調査と比較すると、「知らない」(51.9%)は平成25年度(47.8%)より4.1ポイント増加している。(図11-3-3)

性別で過去の調査と比較すると、「知らない」は男性(55.7%)が平成25年度(50.6%)より5.1ポイント増加している。(図11-3-4)

図11-3-3 COPD(慢性閉塞肺疾患)の認知度(過去の調査との比較)

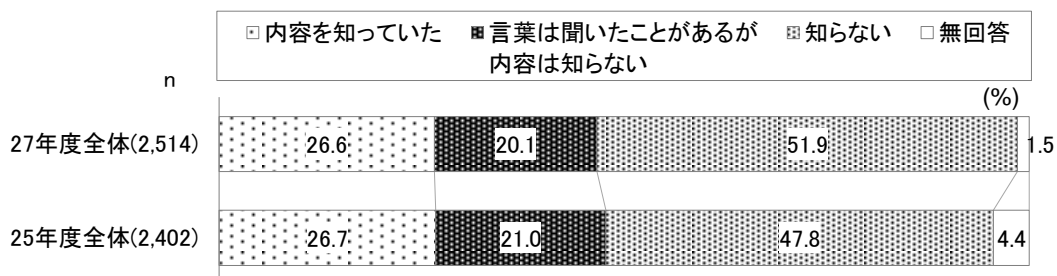
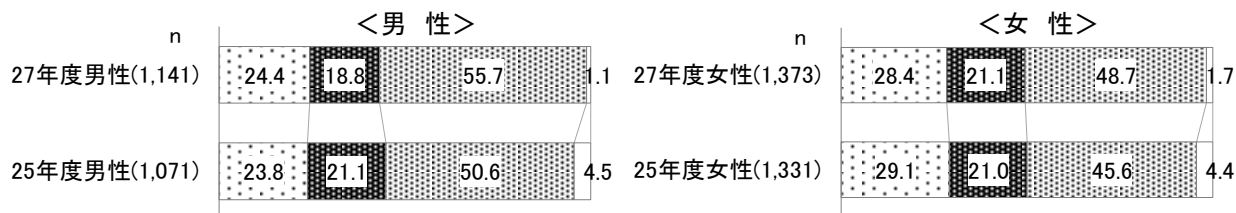


図11-3-4 COPD(慢性閉塞肺疾患)の認知度(過去の調査との比較・性別)



※平成19・21・23年度調査では、この質問をしていない。